

株主の皆さまへ

第158期 中間事業報告書

平成15年4月1日～平成15年9月30日



あつたかを、あなたに、街に、そして未来に。

北海道ガス株式会社

証券コード9534

CLEAN ENERGY

contents

～目次～

株主の皆さまへ	1
営業の概況	2
中間財務諸表	4
まちとまちとをつなぐ ～天然ガスパイプライン整備～	6
北海道のきれいを守る ～技術開発の取り組み～	8
中間連結財務諸表(ご参考)	10
北ガスグループのご紹介	12
会社の概況	13



株主の皆さまへ



取締役社長

前 泉 洋 三

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第158期の中間事業報告書をお届けするにあたり、皆さまの当社へのご支援に対し心より厚くお礼申し上げます。

当報告書より、これまでの「当社中間財務諸表」に加え「連結中間財務諸表」につきましてもご報告させていただきます。ご高覧賜り、株主の皆さまの当社に対するご理解を深めていただく一助となれば幸いに存じます。

当社は、北海道におけるクリーンエネルギー・天然ガスのパイオニアとして、エネルギー基盤の充実に努めており、また、地球環境を考えたエネルギー技術の研究や積雪寒冷地である北海道に適したガス機器・システム機器の開発に取り組んでいるところでございます。

規制緩和が進展し各種エネルギー間の競争が一層激しくなっておりますが、天然ガスとその利用技術を核に、「総合エネルギーサービス事業」としてより地域に密着した事業展開をはかり、多くのお客さまにご選択いただけるよう引き続き最大限の努力を傾注してまいり所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご指導・ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

ガス

当上半期の新設件数は1,780件で、当上半期末のお客さま件数は56万1,116件となりました。ガス販売量は、前年同期に比べ14.7%増の125百万m³となりました。このうち、家庭用につきましては、春先の気温が低めに推移しましたこと等により前年同期に比べ2.1%増の45百万m³、業務用（商業用・工業用・公用および医療用）につきましては、商業用の新規大口物件の稼働等により前年同期に比べ23.4%増の79百万m³となりました。

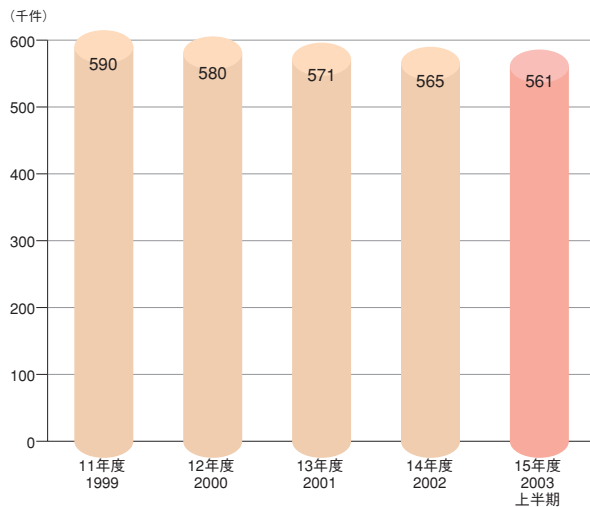
収支の状況

ガス売上高につきましては、前年同期に比べ5.4%増の16,759百万円となりました。営業雑収益につきましては、新設件数の減少、GHP（ガスヒートポンプエアコン）販売台数の減少等により前年同期に比べ11.1%減の2,573百万円となりました。また、附帯事業収益につきましては、前年同期に比べ0.9%減の611百万円となりました。

これらの結果、総売上高は、前年同期に比べ2.8%増の19,944百万円となりました。

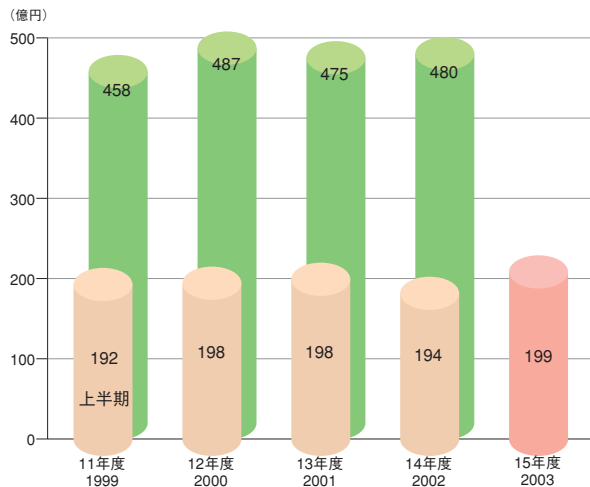
一方、費用の面におきましては、経営全般にわたる一層のコスト低減に努めました結果、経常利益は、前年同期に比べ438百万円増の50百万円となり、中間純利益は、前年同期に比べ264百万円増の16百万円となりました。

お客様件数の推移

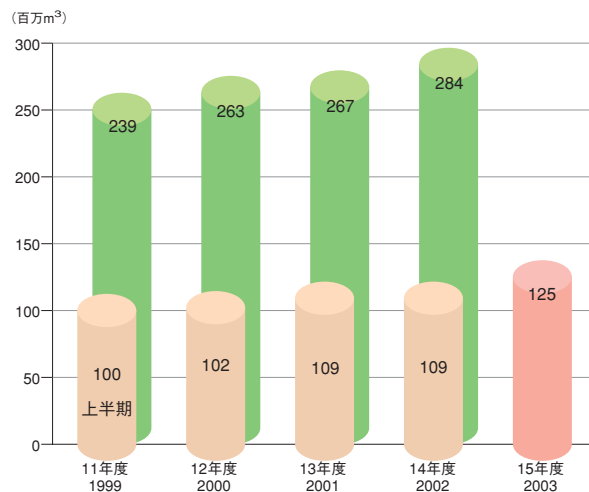


※お客様件数の減少の中には、2000年4月に新設した「家庭用温水式暖房・給湯契約(ゆ〜ぬっく24)」および2003年1月に新設した「家庭用セントラルヒーティング契約(ゆ〜ぬっく24ネオ)」採用による一戸2メーター設置から1メーターへの転換分も含まれます。

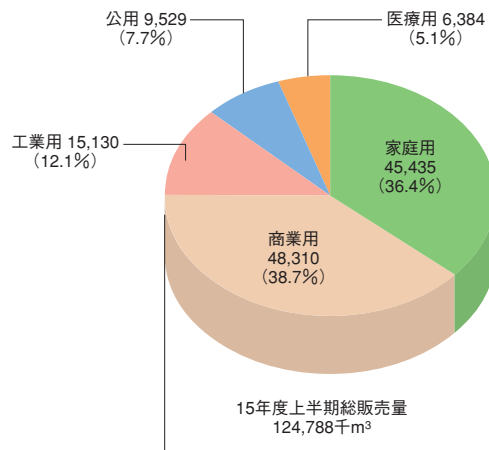
総売上高の推移 (金額は億円未満切り捨て)



ガス販売量の推移 (46.04655MJ換算)



用途別ガス販売量 (46.04655MJ換算)



中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円)

■資産の部			■負債の部		
	当中間期 (15.9.30)	前 期 (15.3.31)		当中間期 (15.9.30)	前 期 (15.3.31)
固 定 資 産	78,802	79,808	固 定 負 債	57,724	59,901
有形固定資産	69,716	70,748	社 債	18,000	18,000
製 造 設 備	9,973	10,340	転 換 社 債	6,802	6,802
供 給 設 備	47,451	48,749	長 期 借 入 金	30,641	32,886
業 務 設 備	7,792	7,931	再評価に係る繰延税金負債	179	179
附 帯 事 業 設 備	1,037	1,044	退 職 給 付 引 当 金	1,751	1,718
建 設 仮 勘 定	3,462	2,683	ガ ス ホ ル ダ ー 修 繕 引 当 金	349	316
無形固定資産	2,848	3,124	流 動 負 債	11,444	12,803
ソ フ ト ウ ェ ア	2,796	3,071	1年以内に期限到来の固定負債	5,261	5,386
そ の 他 無 形 固 定 資 産	51	53	買 掛 金	1,035	2,085
投資その他の資産	6,238	5,934	短 期 借 入 金	700	—
投 資 有 価 証 券	2,998	2,534	未 払 法 人 税 等	323	655
繰 延 税 金 資 産	761	884	そ の 他	4,124	4,675
そ の 他	2,577	2,634	負 債 合 計	69,169	72,704
貸 倒 引 当 金	△100	△118	■資本の部		
流 動 資 産	6,876	9,346	資 本 金	3,821	3,821
現 金 及 び 預 金	620	2,847	資 本 剰 余 金	1,582	1,582
受 取 手 形	316	457	利 益 剰 余 金	15,220	15,513
売 掛 金	2,854	4,168	土 地 再 評 価 差 額 金	317	317
製 品 ・ 原 料 及 び 貯 蔵 品	631	803	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	570	293
繰 延 税 金 資 産	270	242	自 己 株 式	△39	△33
そ の 他	2,420	1,042	資 本 合 計	21,474	21,494
貸 倒 引 当 金	△237	△216	負 債 ・ 資 本 合 計	90,643	94,199
繰 延 資 産	4,964	5,044			
開 発 費	4,964	5,044			
資 産 合 計	90,643	94,199			

中間損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (15.4.1～15.9.30)	前中間期 (14.4.1～14.9.30)
製品売上	16,759	15,898
売上原価	5,684	5,284
売上総利益	11,075	10,614
供給販売費	9,759	9,346
一般管理費	1,075	1,373
事業利益	240	△104
営業雑収益	2,573	2,894
営業雑費用	2,392	2,692
附帯事業収益	611	617
附帯事業費用	455	458
営業利益	577	256
営業外収益	174	188
受取利息	0	1
その他	174	186
営業外費用	701	831
支払利息	411	434
社債利息	135	194
社債発行費償却	—	35
その他	154	167
経常利益	50	△387
税引前中間純利益	50	△387
法人税等	94	—
法人税等調整額	△60	△139
中間純利益	16	△247
前期繰越利益	329	342
土地再評価差額金取崩額	△0	—
中間未処分利益	345	94

主要な経営指標

(単位：百万円)

	当中間期 (15.4.1～15.9.30)
売上高	19,944
経常利益	50
中間純利益	16
株主資本	21,474
総資産	90,643
1株当たり中間純利益(円)	0.27
1株当たり株主資本(円)	347.97
株主資本比率(%)	23.7

(注) 売上高の内訳は、ガス売上高、受注工事収益、器具販売収益、その他営業雑収益、附帯事業収益となっております。

まちとまちをつなぐ～天然ガスパイプライン整備～

CLEAN ENERGY～天然ガス

当社では石油系ガスから天然ガスへと、都市ガス原料の転換を推進しています。天然ガスはメタンを主成分としたガスで、燃焼しても大気を汚染する硫黄酸化物(SOx)や煤じんを発生せず、また酸性雨や人体への影響が問題となる窒素酸化物(NOx)の発生量も極めて少量です。特に地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)の発生量が、石油や石炭などと比較して少ないことも高く評価されています。環境にやさしい、クリーンで安全な天然ガスをお客さまにお届けしています。

天然ガスパイプライン

苫小牧市勇払地区で産出された天然ガスを、パイプラインを通じて札幌市・千歳市・恵庭市等の道央圏にお届けしています。また小樽市への天然ガス供給(2005年予定)にむけ、札幌市と小樽市を結ぶパイプラインが本年11月に完成いたしました。当社は天然ガス供給の基盤整備を進めています。



勇払・札幌間天然ガスパイプライン路線図

道産エネルギーで安定供給を実現

日本では液化天然ガス (LNG) を海外から輸入し、気化させ天然ガスとして供給するケースが大半です。当社は、苫小牧市勇払地区より天然ガスが産出されたことから、純北海道産の天然ガスを利用することといたしました。エネルギーの産地と消費地が近くにあることは、効率の面からもセキュリティの面からも理想的です。

※勇払地区の天然ガス田は、あけほの・沼ノ端・南勇払という3つの構造からなる日本最大級のガス田です。ここで算出される天然ガスは良質でメタンの純度が高く、二酸化炭素 (CO₂) や硫化水素を含んでおりません。現在200億m以上の埋蔵量が確認されており、充分な安定供給量が確保されています。



石油資源開発株天然ガス精製工場【勇払】



当社天然ガス受入基地・北広島供給所

生産地と消費地を結ぶパイプライン

産地直送の天然ガスパイプラインは輸送ロスをほとんど生じさせず、また需要の変化に即座に対応できる等の大きなメリットがあります。また、太平洋側 (苫小牧) と日本海側 (石狩・小樽) を結び道央圏を縦断するこのパイプラインは、今後の北海道の未来を担う重要なエネルギー基盤になると考えています。

※パイプラインは半永久的に利用できる高品質な材質を使用するとともに、大地震に備えた耐震設計をほどこしています。また万一の場合に備え24時間の監視体制をとり安全対策に努めています。

お客さまへ



高効率バーナー搭載ガラストップガスコンロ



札幌駅南口JRタワー (コージェネレーション)



星空観察を楽しめる天文車 (天然ガス自動車)

北海道のきれいを守る～技術開発の取り組み～

当社では、冬の厳しい環境に対応した独自の寒冷地技術をはじめ、さまざまなニーズに対応するための研究開発に取り組んでいます。さらに、環境保全に配慮したエネルギー利用技術の研究や、一層の省エネルギー化の実現に向けた研究開発も行っております。

エネルギーの活用で温暖化防止を。「コージェネレーション分野」

マイクロガスタービンの実証試験

天然ガスを燃料とするマイクロガスタービンは、煤じんの排出が無く、窒素酸化物(NOx)の発生を大幅に低減できる環境にやさしいシステムです。北ガスでは28kW級のマイクロガスタービンによるコージェネレーションシステムの実証試験を行い、寒冷地向けに開発を進めています。



28kWマイクロタービン実証試験

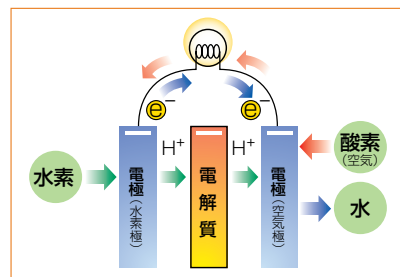
寒冷地向け家庭用燃料電池システムの研究開発



燃料電池設置例

固体高分子形燃料電池システムは、発電効率が高いうえ、振動・騒音も少なく極めてクリーンなので、新しい都市エネルギーシステムとして期待されています。北ガスでは、札幌市内の戸建住宅に固体高分子形燃料電池を設置した場合を想定した評価試験を実施し、寒冷地向け家庭用燃料電池システムの実用化に向けた研究を行っています。

■ 燃料電池のしくみ



家庭用コージェネレーションシステムの開発

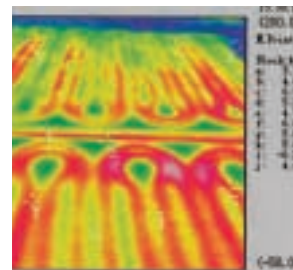
ガス・マイホーム発電「エコウィル」はガスエンジンの発電機能と給湯暖房システムを組み合わせ、天然ガスから電気と熱を効率よくつくります。従来のシステムでは、発電所と需要地が遠く離れているため、発電時に発生する熱を利用することができませんでしたが、「エコウィル」はご家庭で発電するので、発電時に発生する熱を給湯や暖房に利用できるため、高効率で地球にやさしいシステムとなっています。



家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル）の実証実験

北国の冬を安全に住みやすく。「融雪システム分野」

北海道の冬、雪をいかに迅速・的確に処理するかは大きな課題です。北ガスでは、車道・歩道から一般住宅の敷地に至るまでの幅広い融雪用途に対応するための研究開発および商品開発に取り組み、独自のロードヒーティングシステム、制御手法を開発しました。近年では、これらの技術を応用してサッカー場のグラウンドを融雪し、芝生を育成するシステムを開発しました。



融雪路面の温度分析解析（左：融雪状況 右：同上サーモグラフィデータ）

2001年「ISO14001」の認証を取得

「ISO14001」は事業者が環境改善を行っていることを第三者機関に認定してもらう国際規格です。技術開発研究所では厳しい審査を通り、研究活動や研修活動に関し、環境改善目標達成に向けての環境行動を進めています。



（平成13年3月15日認証取得）

中間連結財務諸表（ご参考）

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

■資産の部		当中間期 (15.9.30)	前 期 (15.3.31)	■負債の部	
固定資産		84,326	85,254	固定負債	
有形固定資産		74,243	75,149	社 債	18,100
製造設備		9,973	10,340	転換社債	6,802
供給設備		46,776	48,041	長期借入金	31,893
業務設備		7,755	7,892	再評価に係る繰延税金負債	179
その他の設備		6,186	6,158	退職給付引当金	2,930
建設仮勘定		3,551	2,717	ガスホルダー修繕引当金	349
無形固定資産		2,917	3,199	その他の固定負債	20
その他の無形固定資産		2,917	3,199	流動負債	15,962
投資その他の資産		7,165	6,905	1年以内に期限到来の固定負債	5,793
投資有価証券		4,783	4,354	支払手形及び買掛金	2,269
繰延税金資産		1,473	1,591	短期借入金	2,137
その他の投資		1,055	1,122	その他の流動負債	5,761
貸倒引当金		△146	△163	負債合計	76,238
流動資産		11,616	13,441	■少数株主持分	
現金及び預金		1,615	3,841	少数株主持分	165
受取手形及び売掛金		4,702	6,574	少数株主持分合計	165
たな卸資産		1,295	1,243	■資本の部	
繰延税金資産		397	330	資本金	3,821
その他の流動資産		3,896	1,717	資本剰余金	1,582
貸倒引当金		△291	△266	利益剰余金	18,248
繰延資産		4,964	5,044	土地再評価差額金	317
開 発 費		4,964	5,044	その他有価証券評価差額金	571
資産合計		100,907	103,740	自 己 株 式	△39
				資本合計	24,503
				負債、少数株主持分及び資本合計	100,907
					103,740

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期 (15.4.1~15.9.30)	前中間期 (14.4.1~14.9.30)
売上高	25,668	24,949
売上原価	12,290	11,958
売上総利益	13,377	12,990
供給販売費及び一般管理費	12,549	12,514
供給販売費	11,106	10,725
一般管理費	1,443	1,788
営業利益	827	475
営業外収益	173	178
受取利息	1	2
受取配当金	17	19
賃貸料収入	91	86
その他の営業外収益	62	70
営業外費用	775	876
支払利息	571	657
その他の営業外費用	204	218
経常利益	224	△221
税金等調整前中間純利益	224	△221
法人税、住民税及び事業税	238	183
法人税等調整額	△107	△214
少数株主損失	25	55
中間純利益	119	△135

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	当中間期 (15.4.1~15.9.30)	前中間期 (14.4.1~14.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,015	3,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,676	△5,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,576	△79
現金及び現金同等物の増減額	△2,237	△1,664
現金及び現金同等物の期首残高	3,751	3,700
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,513	2,036

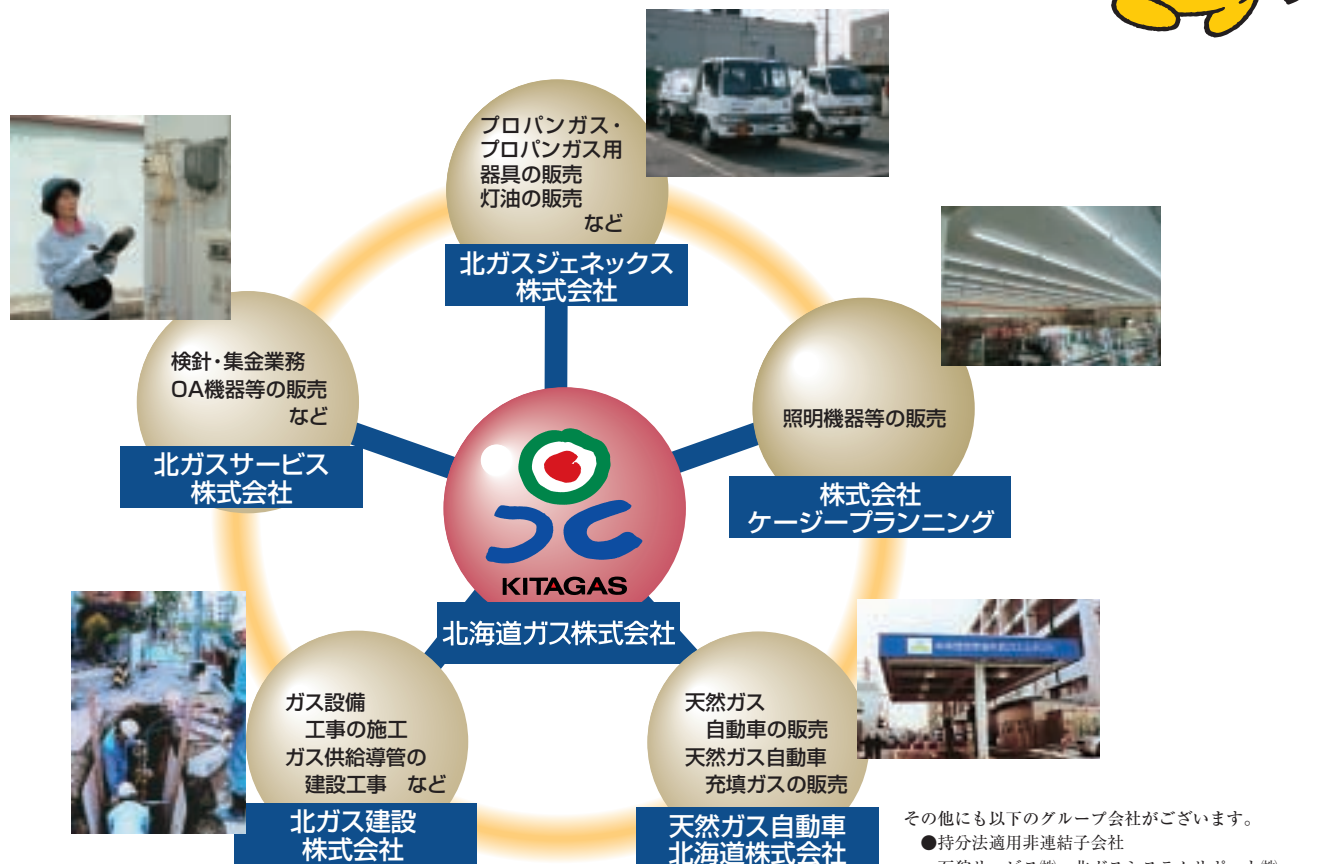
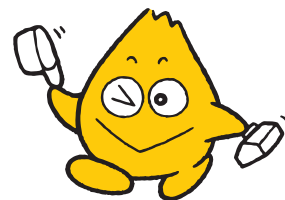
主要な連結経営指標

(単位：百万円)

	当中間期 (15.4.1~15.9.30)
売上高	25,668
経常利益	224
中間純利益	119
株主資本	24,503
総資産	100,907
1株当たり中間純利益(円)	1.93
1株当たり株主資本(円)	397.05
株主資本比率(%)	24.3

北ガスグループのご紹介(2003年9月30日現在)

今期から連結決算情報をご報告するにあたり、当社の連結子会社をご紹介します。
今後とも、グループ会社ともどもどうぞよろしくお願いいたします。



その他にも以下のグループ会社がございます。

- 持分法適用非連結子会社
石狩サービス㈱、北ガスシステムサポート㈱
北東住設機器㈱、㈱小樽ガス住設
- 持分法適用関連会社
ケージセントラルスポーツ㈱
㈱エルシークリーン、㈱日石プロパン供給センター
㈱サッポロエネルギーサービス
㈱北海道熱供給公社
- 持分法非適用非連結子会社
㈱北ガス建設ホームサービス
キタケン工業㈱、㈱寿楽

会社の概況(2003年9月30日現在)

主な事業の内容

- (1) ガスの製造・供給および販売
- (2) ガス機器の販売およびこれに関連する建設工事

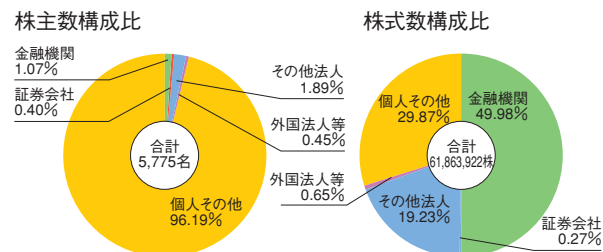
株式の状況

- (1) 資本金 3,821,827,757円
- (2) 会社が発行する株式の総数 160,000,000株
- (3) 発行済株式の総数 61,863,922株
- (4) 大株主(上位10名)

株主名	所有株式数	議決権比率
日本生命保険相互会社	5,358千株	8.85%
第一生命保険相互会社	5,000	8.26
東京瓦斯株式会社	4,274	7.06
株式会社北洋銀行	3,006	4.96
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	2,629	4.34
札幌市	2,244	3.70
北海道信用農業協同組合連合会	2,000	3.30
株式会社北海道銀行	2,000	3.30
明治生命保険相互会社	1,450	2.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,236	2.04

- (注)1.所有株式数は千株未満を切り捨てております。
 2.議決権比率は小数点第3位以下を切り捨てております。
 3.みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数2,629千株は、株式会社みずほ銀行が委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は、株式会社みずほ銀行が留保しております。

株式分布状況



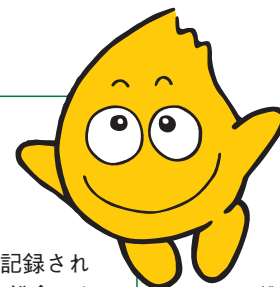
- (注)1.比率は小数第3位以下を切り捨てております。
 2.個人その他には自己名義株式を含めており、その他法人には政府・地方公共団体および証券保管振替機構名義株式を含めております。

主な事業所

本社	札幌市中央区大通西7丁目3番地1
小樽支社	小樽市入船4丁目33番地1号
函館支社	函館市万代町8番1号
千歳支社	千歳市清水町1丁目1番地1
札幌工場	札幌市中央区北4条東5丁目373番地
石狩工場	石狩市新港中央4丁目
小樽工場	小樽市塩谷4丁目155番地
函館工場	函館市万代町8番1号

役員

取締役会長	佐々木 正三
取締役社長	前大 泉
取締役副社長	大 槻
取締役相談役	大 山
取締役	高橋 一雄
取締役	高濱 多
取締役	花坂 林
取締役	小種 畑
取締役	早崎 正
常勤監査役	井川 正紀
常勤監査役	越前 正紀
監査役	松本 達



天然ガス
マスコットキャラクター
“てん太くん”

株式についてのご案内

決 算 期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基 準 日	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもってその決算期に関する定時株主総会において議決権を行使することができる株主といたします。
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	郵便番号 168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行事務センター 電話 東京 (03) 3323-7111
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店、全国各支店
手 数 料	名義書換手数料は無料 新株券交付手数料は新株券発行に係る印紙税相当額
公 告 掲 載 紙	日本経済新聞
上 場 取 引 所	東京証券取引所・札幌証券取引所

商法改正に伴う株式のお取扱いについてのご案内

1. 株券失効制度について

株券を喪失した場合は公示催告による除権判決を受けて再発行するお取扱いでありましたが、平成15年4月1日施行の商法改正により株券は公示催告制度から除外され、新たに創設された「株券失効制度」により株券の再発行を受けることになります。お手続きなどの詳細につきましては名義書換代理人あてにご照会ください。

2. 単元未満株式の買増制度の導入について

商法改正に基づく当社定款規定の変更により、平成15年6月27日から「単元未満株式の買増制度」を導入いたしましたので、単元未満株式を有する株主さまは、当社に対しその単元未満株式の数と併せて1単元になる数の株式を買増請求することができます。なお、決算期日（3月31日）および中間期日（9月30日）を含む各々それ以前の12営業日の間受付を停止させていただくほか、当社が別途必要と認める場合受付停止期間を設ける場合がございます。受付停止期間を含めお手続きなどの詳細につきましては名義書換代理人あてにご照会ください。また、保管振替制度ご利用の場合のお取扱いはお取引証券会社あてにご照会ください。

<http://www.hokkaido-gas.co.jp>